令和３年度　根岸小学校授業改善推進プラン

台東区立根岸小学校

○ 第３学年

１　児童の状況及び実態

評価の観点	ワークテストの平均正答率（%）	
	国語	算数
知識及び技能	８３．５	９３．７
思考力、判断力、表現力等	９０．２	９１．６

国語　言葉・漢字を正しく使えている児童は８０％である。話の中心を考えて聞いたり、自分の考えを場面や相手に応じた言葉遣いで話したりする問題の正答率が低い。

算数　正答率は９０％を超えており、全体的に概ね定着している。しかし、「時刻と時間の求め方」の単元では思考力、判断力、表現力の平均が８５％となっており定着に課題がある。

２　指導についての課題

【知識及び技能】

国語　漢字や語句を正しく読み書きすることや、文や文章中で使うことができるようにする。

算数　学習直後は理解できているので、時間が経っても正答できる力を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】

国語　相手や目的を意識し、内容や中心を明確にして、自分の考えを話したり書いたりできるようにする。

算数　文章問題から立式に必要な情報を読み取り、正しく立式したり、答えたりできるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

場や機会を確保し、自分の考えや思いを伝え合う児童の意欲をさらに高めるようにする。

授業で学習したことを実際の生活場面で活用していこうとする姿勢をもたせる。

３　授業改善に向けての具体的な方策

【知識・技能】

国語　文や文章を読み書きする時に正しく漢字や語句を使うことができるようにするために、分からない言葉を国語辞典を使って調べる習慣を身に付けさせる。

算数　ｅライブラリやプリントなどを活用し、既習内容の計算練習に繰り返し取り組ませ、定着を図る。

【思考・判断・表現】

国語　自分が必要とする情報を読み取る力を身に付けさせていくために、話の中心となる語を見付けて、場面や段落を比べながら読む活動を取り入れる。

算数　文章題の場面を的確に捉えられるよう、図や式で表現することを繰り返す。

【主体的に学習に取り組む態度】

問題提示を工夫し、児童自身がめあてをもって学習活動に取り組めるようにする。また、授業の終わりに振り返りを行い、学んだことを確かめ次の学習への意欲をもてるようにする。